

令和5年

9月

No.77

Autumn



所沢の“今”が2分でわかる！

ところざわ通信



Tokorozawa News

01 4年ぶりのソラバル開催！まちなかコンサートも

8月19日(土) 所沢・新所沢・西所沢駅周辺、西武球場前駅



8月18日(金)から3日間、4年ぶりのソラバルが開催されました。ソラバルは、「ソラパス」を購入すると、市内各地の飲食店でお得なソラバルメニューを楽しむことができます。ソラバルに参加された方にお話を伺ったところ、久しぶりのソラバル開催を楽しんでいる、とのことでした。同時に、ワルツ前でまちなかコンサートが行われ、道行く人も足を止めて演奏を楽しみました。

撮影：市民カメラマン・中村仁

02 ところざわ埋文まつり

8月18日(金) 埋蔵文化財調査センター（北野）



昔の生活や文化の体験ができる「ところざわ埋文まつり」が、市内の小・中学生を対象に開催されました。縄文土器やまが玉作り体験では、参加者は黙々と集中して作業していました。縄文土器は、好きな動物をモチーフにする子や、昔の土器の雰囲気近づけようと写真を観察している子もいました。まが玉は、曲線を滑らかに削るのが難しいため、丁寧に時間をかけて磨いていました。

撮影：市民カメラマン・伊藤磨紀子

03 夏休みこども探検ツアー

8月16日(水) 東部クリーンセンター（日比田）



通常の見学では見ることができないごみの選別を目の前で見たり、重機に乗ったりすることができる、小学生向けの特別な見学ツアーが開催されました。参加した小学生は、「電池類の分別をしていないとコンベヤを止めてしまうので、分別が大切だということを学びました」と話していました。ごみ処理に対する参加者の認識をさらに深めることができました。

撮影：市民カメラマン・由井一雄

04 「所沢市脱炭素経営ネットワーク会議」を設立!

8月8日(火) 市役所8階大会議室



ゼロカーボンシティの実現には、市内の二酸化炭素排出量の約4割を占める事業者の脱炭素化が重要です。そこで、事業者が脱炭素を成長の機会と捉え、事業活動を脱炭素にシフトするために協議する新たな場「所沢市脱炭素経営ネットワーク会議」を設立し、第1回目の本会議を開催しました。会議には18の団体・企業が集まり、脱炭素化への課題や現状について意見を交え、会議の目的や今後のスケジュール等が共有されました。

05 しんとこ夏フェス ～しんとこ演芸場～

7月29日(土) 新所沢まちづくりセンター



老若男女問わず、計50人ほどの方がしんとこ演芸場に集まりました。行われたプログラムは、福とこ会による腹話術、マジッククラブしんとこによるマジックショー、西武線沿線寄席による落語。マジックショーでは、会場の子どもたちを巻き込み、一体となって盛り上がっていました。どのプログラムも観客を楽しませるもので、観客は夢中になって楽しんでいました。

撮影：市民カメラマン・石井将太郎

06 集まれ! U-29 な所沢人 (10COLOR) !

第1回・7月20日(木) 所沢市役所 第2回・8月3日(木) こどもと福祉の未来館



市内の18～29歳の学生や社会人などが集まり、意見交換が行われました。第1回のテーマは「私たちが住みたい所沢市って、こんなマチ!」。未来の自分たち・所沢市がどうなっていてほしいかを話し合いました。第2回のテーマは「Z世代の市民参加」。住みたいマチにするために自分ができる市民参加のカタチを考えました。自由でユニークなアイデアの発表が活発に行われました。

最新情報はこちら

市ホームページ内
「ところざわ通信」を
ご覧ください。



所沢市広報課
フェイスブックも
チェック!



令和5年(2023年)9月発行号 【No.77】

発行 所沢市

〒359-8501 所沢市並木1-1-1

編集 広報課 TEL04-2998-9024

FAX 04-2994-0706

市HP <https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/>

広報マスコット
ひばりちゃん

